



## 甲南大学教職課程 履修カルテ &lt;自己評価シート&gt;

学籍番号

名前

(1) 必要な資質能力についての自己評価

※該当年次において、全ての項目について自己診断による評価を行なう必要はありませんが、3年間のうちに評価してください。同じ項目を3年間評価しても構いません。

必要な資質能力の指標			自己評価			
			5:十分到達(理解)している 4:到達(理解)している 3:概ね到達(理解)している 2:やや到達(理解)できていない 1:到達(理解)できていない			
項目	項目	指標	(参考)対応科目や活動内容など	2年次 2年生3月 記入	3年次 3年生3月 記入	4年次 事後指導後 記入
学校教育についての理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。	(使命感や責任感、教育的愛情)	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	教育の理念・教育史・思想の理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。	教職入門 教育原論 教育社会行政論・人権教育論	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	学校教育の社会的・制度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。		1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
子どもについての理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論の基礎知識を習得していますか。	(生徒理解や学級経営) (社会性や対人関係能力)	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	学習集団の形成	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。		1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	子どもの状況に応じた対応	いじめ、不登校、特別支援教育などについて、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。	教育心理 特別支援教育論 教育相談 生徒指導法(進路指導含む) 教育実習	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
コミュニケーション	発達段階に対応したコミュニケーション	子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。	介護等体験 学校ボランティア マナー講座	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	子どもに対する態度	気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができますか。		1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	公平・受容的態度	子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。		1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。		1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
他者との協力	他者意見の受容	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。	(社会性や対人関係能力)	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	保護者・地域との連携協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。		1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	共同授業実施	他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。	部活動 インターンシップ参加 学校ボランティア報告会(準備含む)	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	他者との連携・協力	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。		1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
教科・教育課程に関する基礎知識・技能	役割遂行	集団において、率先して自らの役割を見つかったり、与えられた役割をきちんとこなすことができますか。		1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	取得希望教科	これまで履修した教科教育分野の科目の内容について理解していますか。	(教科の指導力)	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	教科書・学習指導要領	教科書や学習指導要領(該当教科)の内容を理解していますか。		1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	教育課程の構成に関する基礎理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。	学部学科の専門力 「教科に関する専門事項の科目」 各教科の指導法 教育課程論	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	道徳教育・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	道徳指導法 特別活動・総合的な学習の時間指導法	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	総合的な学習の時間	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	AI・データサイエンス入門、IT基礎・IT応用、コンピュータ実習Ⅰ、プログラミング演習Ⅰ	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	情報機器の活用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。		1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
教育実践	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。		1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	教材分析能力	教材を分析することができますか。	(教科の指導力) (生徒理解や学級経営)	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	授業構想力	教材研究を生かした授業を構想し、子どもの反応を想定した指導案としてまとめることができますか。		1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができますか。	各教科の指導法 指導案作成 模擬授業の実施及び	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	授業展開力	子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。	・共同研究・実習室指導員の指導を受ける。 ・ビデオ撮影により自己分析を行う。	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	表現技術	板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けていますか。	教育実習	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
課題探求	学級経営力	学級経営案を作成することができますか。		1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	課題認識と探求心	自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。	(生徒理解や学級経営) (使命感や責任感、教育的愛情)	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5
	教育時事問題	いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心をもち、自分なりに意見を持つことができますか。	教育実習、学校ボランティア	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5	1⇒2⇒3⇒4⇒5

現時点での自身の成長を見るものです。

(2) (ア)教職を目指す上で課題と考えている事項 (イ)到達事項・反省点など

1年4月(教職を希望する動機と目標)
2年4月(イ)
2年4月(ア)
2年3月(イ)
2年3月(ア)
3年3月(イ)
3年3月(ア)
4年事後指導終了後(イ)

(3) 各年次のGPA

学年	前期	後期	年度計	計
1年次				
2年次				
3年次				
4年次				

(英語免許取得希望者記入欄)

留学期間 短期( \_\_\_年次 月～ 月(行先国) ) 長期( \_\_\_年次 月～ \_\_\_年次 月(行先国) )

	TOEIC	TOEFL	英検	中上級英語科目		
記入例)	〇〇年〇月・800点		〇〇年〇月・準1級	中級英語〇〇・〇〇年度・秀		
取得年月及び得点						
級						
成績						

学籍番号 理工学部環境・エネルギー工学科 《学生氏名》 実習教科：理科（《学校名》 《実習開始》～《実習終了》）

施行規則に定める科目区分等			評価	特記事項	
科目	各科目に含めることが必要な事項	左記に対応する 本学の授業科目		1年～ 3年次末	4年次前期末
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	秀・優・良・可	別紙 面接シート	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門	秀・優・良・可		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会行政論	秀・優・良・可		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理	秀・優・良・可		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	秀・優・良・可		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	秀・優・良・可		
道徳、総合的な学習の時間等の 教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳指導法	秀・優・良・可		
	総合的な学習(探求)の時間の指導法	特別活動・総合的な学習の時間指導法	秀・優・良・可		
	特別活動の指導法				
	教育の方法及び技術	教育の方法・技術(ICTの活用含む)	秀・優・良・可		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導法(進路指導含む)	秀・優・良・可		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談	秀・優・良・可			

(参考:評価の観点)

- ・学校教育(教職の意義、教育の理念、学校教育の社会的・制度的・経営的理解等)の理解が身についているか。
- ・子どもの心理・発達論的理解等子どもに関する理解が身についているか。
- ・教科・教育課程に関する基礎知識・技能が身についているか。
- ・自らの役割をこなし、他者と協力して課題に取り組むことができるか。
- ・子どもや保護者に対応できるコミュニケーション能力が身についているか。
- ・教材開発、授業の構想・展開等実践的な能力が身についているか。

記入者

--

学籍番号

理工学部環境エネルギー工学科

学生氏名

## 教科(理科)

○必修△選択必須

	免許法に規定する 教科に関する専門的事項の科目	授業科目	評価		特記事項
			中学 理科	高校 理科	
教科・科目等の知識、理解、技能について	物理学	力学基礎、電磁気学基礎	○	○	
	化学	化学1・2	○	○	
	生物学	生物学通論Ⅰ・Ⅱ	○	○	
	地学	地球科学1・2	○	○	
	物理学実験	ラボラトリー・フィジクス	○	△	
	化学実験	ラボラトリー・ケミストリー	○	△	
	生物学実験	基礎生物学実験	○	△	
	地学実験	地学実験	○	△	
教員養成の観点からの特記事項					
その他の特記事項					
記入者					

## ※記載上の注意:

「教科・科目等の知識、理解、技能について」欄の記載について、必修科目の成績の平均によりA～D評価を記載する。A:2.8以上、B:2.2以上、C:1.6以上、D:1.0以上。

△の科目については「高校理科」のみの免許取得希望者は、1科目以上の選択必修であるため、未修得の科目については記載の必要はない。

「特記事項」欄の記載について:各科目群または科目について、ご記入ください。特にDの評価の科目群または科目については補充すべき内容を必ずご記入ください。

また、免許法科目群の中の必修科目中、未修得科目があれば記載してください。

「教員養成の観点からの特記事項」欄の記載について:各学部・学科の教員養成の理念の観点から評価できること、補充が必要と思われる内容等についてご記入ください。